



# 県内主要産業の動向

2017年9・10月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	17年8月	17年9月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	生産は総じて低調。受注品は、小口注文の割合増加に伴い採算性が悪化。自社ブランドも百貨店の売り場縮小によって、厳しい状況が続く。産地全体として、研磨職人の不足による生産の滞りもみられる。一部では、職人を自社で直接雇用し育成する動きが広がっている。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は用途で明暗が分かれる。業務用は、金属トレーなど厨房用品が堅調。一部に、人手不足で生産が追いつかない企業もみられる。家庭用は、アウトドア関連で動きがみられるが、全体としては厳しい状況。安定して受注を続けてきたタンブラーにも一服感がみられている。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、秋口の需要期を迎え、堅調な建築関連工具を中心に復調。東京オリンピック需要等によりトルクレンチ類が伸びている。輸出は、各社の出荷状況に差はあるものの、東南アジア向けを中心に一服感。鋼材価格の再値上げに加え運賃値上げも想定され、コストアップ要因に。
電子部品 ・デバイス	○	○	→	受注は増勢基調が続く。半導体関連では、半導体や半導体素材の受注が引き続き好調。電子部品関連では、半導体製造装置向けが堅調に推移。携帯端末関連も高水準な受注が続いている。足下では、受注増を受けて人手不足が深刻化しており、人材の確保が課題となっている。
鋳物	○	○	→	受注は総じて堅調を維持。半導体、輸送機器、工作機械などの品目をメインに、海外需要向けが牽引している。先行きの受注は年末まで明るい見通しではあるが、足下では、原材料費や人件費が高み、より採算性を重視した取引に注力する動きがみられる。
金型	○	○	→	受注は好調を維持。住宅用の建築金物が引き続き好調であることに加え、自動車関連で新規の商談先からの受注が増加している。また、家庭用品や雑貨小物などの新たな品目で、小ロットながら引き合いが出てきており、今後、量産受注を期待できる状況にある。
一般機械	○	○	↗	内需は、自動車や半導体関連を中心に設備の更新投資が牽引。外需は、中国向け自動車関連、米国向け航空機関連が引き続き好調。中国や新興国の産業高度化により日本製の高性能機械の需要が高まっている。内外需とも底堅く推移しており、需要の厚みが増している。



業種	景況			コメント
	17年8月	17年9月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地、五泉産地とも受注は前年を下回る水準。レンタルの拡大により、小売店の不振が続く。展示会等イベントは、回数は増えたものの集客は乏しく、盛り上がりには欠けた。そうした中、五輪関連で一部にクロアチアをテーマに着物を製作し、知名度の向上と販路拡大に努める動きがみられる。
合織織物	●	●	→	春物生産期にあるが、受注は総じて伸び悩み。製品により明暗が分かれており、高級衣料の需要は少量ながらもあるが、定番衣料については反応が鈍く足下で苦戦している。受注が増加した先では年末まで繁忙が続く見通しで、人員不足により納期対応に苦慮しているところもある。
ニット	●	●	→	春物受注の開始時期だが、天候により一部では秋冬物の追加受注もみられた。春物については、五泉・見附両産地ともほぼ例年並みの受注数量を見込み、端境期もなく生産体制を切り替える。当面は、県内外で開催予定のイベントを通じ、産地ブランドをPRして商機につなげていく。
木工家具	●	●	→	業務用は、一部業者で飲食チェーン店からの受注が続くなど、店舗関連に相応の動きが出たものの長続きせず。家庭用は、依然として大型家具の受注難から事業規模確保に苦慮する状況が続く。各業者ではアウトレットセールなどで売上確保を図る他、木工体験を実施し製品PRに努めている。
清酒	●	●	→	9月の出荷量は、県外向けの落ち込みにより、全体では前年を下回った。酒類別では、普通酒が居酒屋など飲食店向けで伸び悩んでいる。足下では、気温の低下とともに出荷の持ち直しもみられており、各酒蔵とも季節商品の投入やイベントの開催などで需要喚起に努めている。
米菓	◐	◐	→	9月の売上は行楽シーズンが到来し、総じて前年並みを確保。足下では低価格志向の強まりなどからやや弱含みで推移。そうした中、各社ともハロウィン向け商品の発売やオリジナルパッケージ作成の新サービスを開始するなど需要を喚起。一部では、海外市場開拓に向けた取り組みを強化する動きも。
建設	◐	◐	→	公共工事は、国、県の工事発注が前年より少なく、全体では弱含み基調が続く。民間工事は、医療・福祉、運輸等で動きがあるものの、大型工事が少なく盛り上がりには欠ける。住宅建設は、展示場の客足は例年並みだが、持家・貸家とも着工ベースでは弱含みの動きを示している。
大型小売店	◐	◐	→	9月の売上は総じて前年を下回った。気温低下に伴い秋物衣料が動き出したものの、食品などが振るわなかった。足下では、引き続き秋冬物衣料に動き。そうした中、百貨店・スーパーでは水稻新品種の「新之助」を中心とした新米販売やハロウィン向け商品の拡充により需要喚起に注力。